Electric Safety

MONTHLY
SAFETY
BRIEF
June 2003
NAF ATSUGI

電気の安全チェックリスト

コンセント： オーバーヒートによる火事の原因となります。ゆるくてコンセントから外れそうなプラグをチェックする。

コード： コードが良い状態にあるかどうか、たとえば擦り切れていたり、ひびが入っていたりしないかを確認する。コードを引っかけて転ばないように、人の通る場所にコードを通さない。電気コードをくぎやホッチキスで壁や幅木などに打ち付けたりしない。コードをカーペットや敷物の下、家具の下などを通さない。

延長コード： 延長コードに電力がかかりすぎていないか、確認する。延長コードはあくまでも一時的に使用するものです。（つながれている器具のワット数を計算してください。）

プラグ： プラグがコンセントにあっているか確認しましょう。二つ穴のコンセントに使用するために、三本足プラグからアース用のプラグ（三番目のプラグピン）を取り外して使用することは感電の原因になります。プラグがコンセントにあわない場合は無理に押し込まないこと。プラグに合ったコンセントを使用しましょう。タコ足配線は避けましょう。

漏電遮断器（ＧＦＣＩ）： 漏電遮断器によって感電死を避けることができます。漏電遮断器が電気のもれ（地絡）を感知すると、自動的に電源スイッチが切れ、深刻な感電事故から身を守ることができます。取り扱い説明書にそって漏電遮断器がきちんと作動するか毎月点検を行いましょう。

水と電気（感電の危険）： 水でぬれた電化製品のプラグをコンセントにさしこまない事。もし電化製品をあやまって水の中に落とした場合、スイッチがきれていても、水の中から製品を引っ張り出さないこと。先にプラグをコンセントから外して下さい。水にぬれた電化製品はすぐ使用せず、資格のある修理担当者に調べてもらいましょう。